

平成22年度能美市地域福祉活動計画

第6回アクションプラン推進協議会会議録

日時：平成23年2月3日（木）午後7時～

場所：辰口健康福祉センター

出席者：高塚亮三（福祉施設等）、西川方敏（市ボランティア連絡協議会）、井上徹（市民生委員児童委員協議会）、吉田良（市自治公民館協議会）、喜多泉（子育てに関わる団体）、橋場里志（ボラセンづくり委員会副委員長）宮田明（市自治公民館協議会）、近藤沙夜里（子育てに関わる団体）、田中邦一（学識経験者）、村上洋子（学識経験者）（敬称略）

欠席者：なし

事務局：宮本会長、新川、海道、南野、谷、向

1. 開会の挨拶

高塚アクションプラン（以下「AP」という）推進協議会長

「春 まち ぽかぽか プロジェクト」（以下「ぽかぽかP」という）も近づき、今日の協議は、この件についてになるが、その後に、テレビこまつの取材も予定されている。そこで、挨拶はこれくらいにして、早速、会を始めたいと思う。

2. 各 AP 委員会からの報告及び協議

ア 『よろっさ やろっさ つなごっさ！春 まち ぽかぽか プロジェクト』概要版の確認について・・・別紙のとおり

事務局：今日は、この「春まち ぽかぽか プロジェクト」のプログラムを本日の資料の概要版で確認していただきたい。内容の説明は、以下のとおり

1P めは、各委員会委員長のメッセージとして、今年の企画の目的などを掲載してある。2P～3P は、全戸配付用のプロジェクトのPR用チラシの抜粋を掲載。4P～16P までは、各プログラムの内容について掲載。そして、17P には、この地域福祉活動計画の目指すものという1枚を地域福祉活動計画の冊子から抜粋してある。さらに、18P には、AP 委員会委員の名簿です。19P には、「能美たすかったわ～大賞」の募集について要綱などを掲載し、最後のページには、地域福祉活動計画の全体の体系図と「ぽかぽか P」全体のスケジュールをカレンダー風にして、裏表紙にしてあります。この概要版の全体に目を通していただき、お気づきの点等、ご意見などをお伺いしたい。

田中：この概要版の配付先については、どうなっているのか。

事務局：本日の資料の中につけてある「配布先一覧」を見ていただきたい。この一覧に記載してある、個人、団体等に、ぽかぽかPのご案内、チラシ(白黒)と概要版の3種類を送付予定。また、ポスターについては、根上、寺井、辰口の各公共機関に掲示したいと考えている。

事務局：概要版のプログラムだが、基本的には、すでに各 AP 委員会で協議されてきたものをのせてあり、今日は、特にプログラム 1～4 の最終の確認をお願いしたい。

宮田：8P に記載のいきいきサロンだが、日付順での記載がよいのではないか。

事務局：わかりました。

その他、プログラム 11～12 について、補足すると、各学校の生徒、保護者にも参加の声かけをしている。また、各プログラムについては、終了した時点で、去年度同様、「かわら版」をつくり、市民の方々に報告できるようにする。そして、プログラム 13 の「全体 AP 委員会」で、かわら版をもとに報告するという予定である。

イ 全体 AP 委員会の内容（進行）について

日時：2月26日（土）14時 ～ 16時

会場：辰口健康福祉センター

高塚：オリエンテーションとは、何をするのか。

事務局：当日は、ぼかぼかPの振返りということ、タイムスケジュールなどを説明したい。

喜多：気軽に話し合えるような会場設定が大事。1つのテーブルに、4つのAP委員会の委員が、万遍よく、入っている形が良いのではないか。例えば、8人1グループにして、各AP委員会から委員が2人ずつ分かれて、入ればよい。

宮田：参加者は、名札をつけてどの委員会の所属か、わかるようにしたらよい。

高塚：確認だが、参加者は評価委員2名、社協宮本会長、社協各担当者、各AP委員会というメンバーになる。そして、4つのAP委員長は、そのグループでそれぞれ、ファシリテーター役を務めてもらう。

田中：グループ分けをして話し合うのなら、テーマや目的があったほうが良いのではないか。

喜多：グループ分けに関係なく、それぞれのAP委員会の委員同士の情報交換の場であり、ぼかぼかP全体を通しての感想とか、ざっくばらんに話し合っただけの場であったほうが良い。

西川：各AP委員の委員はいろんな思いで参加してくれていて、私達が気付かない問題などもあるので、自由に話し合った方が良いと思う。

田中：テーマもなく、話し合いが、1時間、持つのか。

喜多：自己紹介、各 AP 委員会での思いなどで、時間は、多分、あっという間にたつ。また、話し合った内容は、記録しておいた方がよい。自由談義は、時間は長い方がよく、報告は短くてもよいと思う。

高塚：各 AP 委員会からの報告の時間を 14：10～14：30 にして、その後、14：30 から、自由談義、報告ということでどうか。ファシリテーター、記録者、発表者が、各グループに必要である。

喜多：2分くらいでもいいから、発表は必要。

西川：グループの中で発表者を決めていただき、記録者が、その発表を補足するような形でいいのではないか。

宮本会長：委員さんには、いろいろなお話をしていただきたいので、事務局が、報告の要点をまとめることにし、委員さんには、役割をもっていただくより、話しあいをしていただいたほうが良いのではないか。

最終的には、自己紹介、自分の所属している AP 委員会での思いを話し合ってもらい、それを土台にグループで話し合ってもらえばよいと思う。

井上：最期に行う発表だが、自分が所属している AP 委員会の話ばかりには、ならないか。

喜多：自分の思いの表し方であるから、それでもよいのではないか。ところで、総括だが、この全体 AP 委員会は、ざっくばらんな時間にしたいので、総括は、別に必要ないのではないか。グループごとの報告と閉会の挨拶でよいのではないか。

(全員了解)

事務局：「能美たすかったわ～大賞」についてだが、この全体 AP 委員会当日までに、応募作品の中から、10 点くらいを絞りこみ、当日の自由談義のところで、その中から、大賞 1 点、優秀賞 2 点を委員の皆さんで決めていただきたい。

高塚：どのような投票にするのか。

事務局：全員で 1 人 1 点、よいと思う作品を選び、票の多い順に大賞 1 点、優秀賞 2 点を選んでほしい。

(全員了解)

事務局：開会の挨拶は、高塚会長、閉会の挨拶は、西川副会長でよろしいか？

(全員了解)

また、12日には、団塊の世代講座がスタートとなるが、この日が、ぽかぽかPとしてもスタートするというので、12日には、高塚会長からも開会の挨拶が一言あった方が、よいかと思うが・・・

高塚：了解。

3. 活動計画3年目の推進のまとめについて

ア 第7回 AP 推進協議会

日時：3月17日（木）19時30分 ～ 21時

会場：辰口健康福祉センター

イ 評価委員会

日時：3月24日（木）19時30分 ～ 21時

会場：辰口健康福祉センター

ウ 今後の各 AP 委員会の予定について

○地域福祉人づくり委員会（第3回ふれあい福祉事業実行委員会）

2月7日（月）午前10時～ 辰口健康福祉センター

○私たちのボランティアセンターづくり委員会

2月16日（水）午後7時～ 寺井地区公民館

○地域福祉ネットワークづくり委員会

3月4日（金）午後7時～ 寺井地区公民館

○地域福祉支えあいのしくみづくり委員会

3月7日（月）午後1時30分～ 辰口健康福祉センター

4. その他

5. 閉会の挨拶

西川 AP 推進協議会副会長